ニジェール情勢（報道とりまとめ）

（平成２８年１２月）

主な出来事

【内政・治安】

●１２月２８日，バズム内務大臣は，ボコ・ハラムの旧戦闘員に対する大赦・社会統合プログラムを発表した。

【外交・経済協力】

●１２月１０日，イスフ大統領は，クーンデルス・オランダ外務大臣の表敬を受けた。

●１２月１１日，イスフ大統領はガコソ・コンゴ（共）外務大臣の表敬を受けた。

●１２月１４日～１６日，イスフ大統領はブリュッセルの欧州連合（ＥＵ）を訪問した。

●１２月２０日，ヤクブ外務大臣と川村在ニジェール日本大使は，３億３０００万円相当の食糧援助に関する合意に署名した。

●１２月２０日，イスフ大統領は，フォン・デア・ライエン独国防大臣の表敬を受けた。

【経済・社会】

●１２月６日，未払い賃金の支払いを求める契約教員数千名がニアメにおいてデモを実施した。

●１２月９日，アフリカ開発銀行（AfDB）は，ニジェールの農村，都市周辺及び都市の電化計画（Pepern）のための６，５００万ユーロの融資を承認した。

**１．内政・治安**

●１２月２日，連立与党「再生のための民主運動」（ＭＤＲ）は，イスフ政権による汚職を批判し，同政権の政策の責任を取れないとして，連立政権から離脱することを発表した。（Africa24）

●１２月１８日，イスフ大統領や政府高官，近隣国の代表者の出席の下，アガデズにて建国５８周年を祝う式典が催された。イスフ大統領は，同式典のスピーチにおいて，不法移民の斡旋業者に対する取り締まりを強化すると述べた。（Le Sahel，RFI）

●１２月２６日，イスフ大統領に対して，２０１６年のマンデラ安全保障賞が授与されることが決まった。同大統領の国内治安対策及び地域のテロとの戦いや麻薬密輸対策におけるリーダーシップを評価したもの。（Le Sahel）

●１２月２８日，バズム内務大臣は，ボコ・ハラムの旧戦闘員に対する大赦・社会統合プログラムを発表した。それによれば，ボコ・ハラムを脱退した者は，一定期間「移行センター」に収容され，過激思想を放棄させ，社会統合を促す措置を実施する予定。専門家は，過激思想を放棄させるプログラムは存在せず，ボコ・ハラムに参加した大半の若者の動機は，思想ではなくお金にあるとして，その効果に疑問を呈している。（RFI）

●１２月３０日，バズム内務大臣は，ボコ・ハラムに関与した容疑で国内に収監中の約１，２００名に対する司法手続きを加速させると述べた。（AFP）

**２．外交・経済協力**

●１２月９日，イスフ大統領は，ブヨヤ・マリ・サヘル担当ＡＵ特別代表（元ブルンジ大統領）の表敬を受けた。ブヨヤ特別代表は大統領に対して，８日にニアメで開催された過激化及び暴力的過激主義に関するシンポジウムの概要を説明した。（大統領府）

●１２月１０日，フィリッポ・グランディ国連難民高等弁務官は，ブリジ・ラフィニ首相及びイスフ大統領と相次いで会談した。同高等弁務官は，ニジェールの難民受け入れは模範的であるとして，イスフ大統領に感謝を述べた。翌１１日には，首相府において外交団及び国連機関を交えた会議に出席し，同国の難民問題について議論した。（Agence Nigerienne de Presse）

●１２月１０日，イスフ大統領は，クーンデルス・オランダ外務大臣の表敬を受けた。表敬では，二国間協力について協議されたほか，移民問題についても議論された。（Agence Nigerienne de Presse）

●１２月１１日，イスフ大統領はガコソ・コンゴ（共）外務大臣の表敬を受けた。同外務大臣は，コンゴ（共）大統領のメッセージを伝えるとともに，二国間協力とリビア情勢について協議した。（Agence Nigerienne de Presse）

●１２月１３日，マスドゥ・ハスミ財務大臣とマルセル・エスキュール仏大使は，仏のニジェールに対する８００万ユーロ（約１０億円）の財政支援に関する合意に署名した。同財政支援は，ニジェールの経済プログラムの支援，特に未払い金の清算にあてられる予定。（Le Sahel）

●１２月１３日，カネ計画大臣とバカヨコ世界銀行ニジェール事務所代表は，２６１０万ＳＤＲ，２１０億ＣＦＡフラン（約５２億円）の贈与協定に署名した。同支援は，公共サービス提供の能力とパフォーマンスを強化するプロジェクト（ＰＣＤＳ）にあてられる予定。（Le Sahel）

●１２月１４日～１６日，イスフ大統領は欧州連合（ＥＵ）の招待でベルギーのブリュッセルを訪問した。１４日には，ミシェル・ベルギー首相と会談し，１５日には，ユンカー欧州委員会委員長，モゲリーニ欧州連合外務・安全保障政策上級代表，タスク欧州理事会議長，ミミツァ国際協力・開発担当委員，スティリアニデス人道支援担当委員らと会談した。ＥＵ及び加盟国の対ニジェール援助のは，２０１４年から２０２０年の期間で総額８億２０００万ユーロ（約１０００億円）にのぼる。（Le Sahel）

●１２月１５日，欧州委員会は，ニジェールを通過する移民の数が２０１６年５月の７万人から１１月には１５００人まで減少したと発表し，不法移民の斡旋業者の取り締まりに対するニジェールの取り組みを賞賛した。（RFI）

●１２月１７日，イスフ大統領は，ナイジェリアのアブジャで開催された第５０回西アフリカ諸国経済共同体（ＥＣＯＷＡＳ）首脳会議に出席した。同会議では，ＥＣＯＷＡＳ域内で自由なヒト・モノ・カネの移動ができないことを非難するドキュメンタリー『Taxi Cedeao』を視聴した後，ガンビア及びギニアビサウ情勢やＥＣＯＷＡＳで採択された各種文書を検討した。（Le Sahel）

●１２月２０日，ヤクブ外務大臣と川村在ニジェール日本大使は，３億３０００万円相当の食糧援助に関する合意に署名した。（Agence Nigerienne de Presse）

●１２月２０日，イスフ大統領は，フォン・デア・ライエン独国防大臣の表敬を受けた。表敬では，ニジェールの安全保障や経済発展について議論され，同国防大臣は，ニジェールが地域で豊かな知見を有する重要なパートナーであり，サヘル地域の安定化に向けてＧ５諸国と協力していく考えを表明した。（大統領府発表）

●１２月２９日，バーラール・アズーズ駐ニジェール・アルジェリア大使は，マガギ人道行動・災害対策大臣に対して，ニジェール政府の災害対策を支援するために５０万ドルの小切手を手渡した。（Le Sahel）

**３．経済・社会**

●１２月６日，未払い賃金の支払いを求める契約教員数千名がニアメにおいてデモを実施した。すでに，１０月以来部分ストが定期的に実施されており，今年度の第１四半期は授業がほとんど実施されていない。ダウダ初等教育・識字・国語促進・市民教育大臣は，９月及び１０月の未払い分を１２月末までに，１１月及び１２月の未払い分を１月８日までに支払うと約束した。（RFI）

●１２月９日，アフリカ開発銀行（AfDB）は，ニジェールの農村，都市周辺及び都市の電化計画（Pepern）のための６，５００万ユーロの融資を承認した。Pepernは，２０２５年までにアフリカにおいて電気へのユニバーサル・アクセスを実現するAfDBの目的に沿うものであり，４万６千世帯，３３万１千人が電気へのアクセスを得る予定。（Jeune Afrique）

●１２月２１日，生活費の高騰及びイスフ政権の政策に抗議するデモがニアメで実施され，公務員，商人等，約１０，０００人が参加した。（RFI）

（了）